

【3つの共同目標】

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

革新・愛知の会

第287号 2019年4月10日

平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306
Tel.(052)872-6918 FAX.(052)872-6919
Eメールkakushin-aichi@roren.net
http://www.kakushin-aichi.jp/

インタビュー

平和憲法を日本社会に！—使命をもって

元裁判官として安保法制違憲訴訟に



平和憲法の精神を社会に

私は1966年4月、24歳で札幌地裁裁判官としてその任に就き、2006年8月30日をもって65歳で定年となり退官しました。退任後、弁護士を職業とする人もいますが、弁護士登録はしませんでした。それは私の信念です。任官当時、法曹界には護憲を掲げる青年法律家協会（青法協）が、平和と民主主義を守ることを目的として活動していました。

私は学生時代から教会をもたない無教会派クリスチャンです。東京大学で小林直樹教授から憲法学を学びました。日本国憲法の平和主義、国民主権、基本的人権を重視し、平和憲法の精神を日本社会に根付かせることが自分の使命と考え、その使命を果たすために裁判官となる道を選びました。

私が在任した間に自衛隊違憲・合憲を争点とする3つの裁判が行われました。そのなかで憲法9条違憲を正面から判断したのが1973年長沼ナイキ基地訴訟判決です。この裁判の担当裁判長福島重雄裁判官に対する裁判干渉、司法反動の動きがおこりま（二面へ）

しもざわ えつお 下澤 悦夫 さん
1941年生まれ。元裁判官。無教会派クリスチャン。「安保法制違憲訴訟の会あいち」原告団共同代表。60年安保闘争の年に東大に入学し法学部に進学。1966年青年法律家協会（青法協）所属裁判官。

当時、青法協裁判官部会の会員数は300人くらいでした。判事補（任官後10年未満の若手裁判官）の三分の一が会員でした。私は学生時代から自衛隊は違憲であり、なんとかしなければいけな

安保法制違憲訴訟の会あいちの原告団共同代表のひとり、元裁判官の下澤悦夫さんにお話を伺いました。下澤さんは、40年間裁判官として平和憲法の精神を日本社会に根付かせることを使命として取り組んでこられました。青法協裁判官として活動してこられたお思いと安保法制違憲訴訟についてお聞きしました。（聞き手・岩中美保子 写真撮影 山本晃子）

平民の暮らし

2019年度となりました。学び舎でも働く現場でも、そして労働組合も、新しいスタートを切ったみなさんを迎えています▼4月1日、名古屋市職労では、辞令交付式の会場前で新規職員にインタビュー。「公務員（名古屋市職員）を選んだ理由」として、選択式でしたが「市民の役に立ちたい」「やってみたい仕事がある」この二つに、答えが集中していました▼希望と期待を胸に、歩み始めたみなさんが、まずは毎日、元気に職務に従事できるよう、使用者である名古屋市側の責任とともに、労働組合の役割発揮が求められています▼2019年度は、統一地方選挙とともに、国政選挙もあります。新規のみならず、職場や暮らしのもとにある政治にも目を向け、主権者としてめげない投票に行っていたら、ことを呼びかけることも、労働組合の重要な役割と考えます。（蛭原京子名古屋市職労委員長 革新・愛知の会代表世話人）

多数派めざして

消費税をなくす 愛知の会事務局長



岸野知子

隔月掲載です。

「税って、何ですか？」で始まるミニカフェ。喫茶店で、テーブルの上にはモリモリのモーニング。そんな中で、消費税の学びとおしゃべりは、口の動きも忙しく、全員参加でとっても楽しい。12月の中旬から数えて、のべ30回、参加者は554人。

知ってパワーアップのカフェ — 税のあり方が国を変える

表を大きくビー紙に書いて、必ず見せる。アベさんは軍事費を「GDP1%から2%にする」と言っているので、10兆円を増やすと、世界で8位の日本が、5人抜きて世界3位の軍事大国になる。その財源が消費

税。戦闘機の爆買い、こわいですね。消費税ゼロにしたのは、マレーシア。昨年5月に野党が政権を取って実現。その次に手を付けたのは、中国が計画している「二帯一路」という、高速道路や新幹線の巨大大型開発で、借金大国になる道を拒否した。中国に反旗を翻すという国のあり方を大きく変える道に踏み出した。税のあり方が国を変える。大企業減税のカラクリや累進課税をすすめ、ばらまき減税をやめれば、15〜23兆円の財源は出てくることも話す。5月10日には斎藤貴男さんを招いて「ネットワー

クあいち」の立ち上げも準備中。「先が見えなくなつて不安でたまらない。」という、小さな業者のおかみさん。「選挙で白黒つけましよう」が私の合言葉。

参院選前に改憲発議ある?!

安倍改憲にどう立ちむかうか

3千万署名運動ラストサポート集会

5月15日(水)
午後6時30分☆開場6時
労働会館東館2階ホール



1部講演
いま改憲をめぐる情勢

講師 本秀紀さん
(名古屋大学教授 愛知憲法会議事務局長)

2部運動の行動提起
地方選挙の結果、情勢を受けて、3000万署名をさらに推進するために交流します。
主催 憲法改憲反対愛知共同センター
連絡先 愛商連 ☎052-871-5433

全国革新懇ニュースの普及を!

全国革新懇ニュースは、改憲反対の運動、市民と野党の共闘、全国各地の革新懇運動を学ぶことのできる新聞です。5月の全国革新懇総会までに2000部達成を。全県であと45部で2,000部に達成します。ぜひ、普及を!

■全国革新懇 第39回総会

5月18日(土)
午前11:00~
学士会館(東京)

10%ストップ! ネット結成集会

10月消費税
10%NO!

5月10日(金)

時間:18:30~21:00
場所:ウインクあいち1103
入場:無料

講師:斎藤 貴男さん
(ジャーナリスト)

*全国組織として昨年12月に立ち上げられた「10%ストップ! ネット」呼びかけ人の一人。消費税の構造に鋭くメスをいれた多数の著書を出版。

主催:10月消費税10%ストップネットワークあいち
連絡先:愛商連
(052-679-6911)